



6月29日に板橋区立美術館（赤塚5-34-27）がリニューアルオープン

令和元年第2回定例会

幼児教育・保育の無償化等に伴う一般会計補正予算や、
板橋区手話言語条例など19件の議案を可決

主な掲載内容	
 議案の議決結果 請願・陳情の審査結果	2
 常任委員会 レポート	3
 区議会の 新構成	4 5
 一般質問（要旨） 区政全般に対して 行われた質問を紹介	6 7 8
 議会トピックス	8

- 板橋区議会は、令和元年第2回定例会を、6月5日から21日までの17日間の会期で開催しました。
- 本会議初日と2日目（6月5日、6日）は、13名の議員が一般質問に立ち、区政が直面する課題について、区長などの考えをたきました。
- 区長提出議案として、令和元年度（平成31年度）板橋区一般会計補正予算のほか、条例の改正など19件の議案が提出されました。また、議員提出議案では、「児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書」を含む2議案が提出されました。
- 常任委員会における審査を経て、本会議最終日（6月21日）に、区長提出議案19件、議員提出議案2件を原案どおり可決しました。
- 請願・陳情については、2件を採択、8件を不採択とし、27件を継続審査としました。また、1件が審議未了となりました。

令和元年第1回臨時会

- 第2回定例会に先立ち、4月21日に行われた区議会議員選挙で選出された46名の議員による初議会（第1回臨時会）を5月23日に1日間の会期で開催し、今後の議会構成などを決定しました。
- 指名推選により、議長、副議長を決定した後、新議長のもと常任委員会、議会運営委員会の委員の選任をしました。
- 4つの特別委員会の設置および委員の選任をしました。特別委員会は、特に重要な案件を専門的に調査・研究のうえ、区に対して提言を行っていきます。
- 区長から提案された議会選出の監査委員の選任に同意しました。



手話を使用する区民が心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現をめざして

東京都板橋区手話言語条例を可決



第2回定例会では、19件の区長提出議案と2件の議員提出議案が可決されました。議案の詳しい内容（議案書）や議員ごとの態度については、板橋区議会ホームページで公開しています。また、会議録は8月中旬以降に区議会ホームページならびに区議会事務局、各図書館、区政資料室および公文書館で閲覧できます。

議案の議決結果と会派の態度

○=賛成 ×=反対 ()は議員数 ただし、自民党の議員数は議長を除いた数

議案	付託委員会	自民党 (16)	公明党 (10)	共産党 (9)	民主クラブ (4)	市民 (3)	無所属の会 (2)	無所属議員 (1)	議決結果
区長提出議案									
予算	令和元年度（平成31年度）東京都板橋区一般会計補正予算（第2号）	企画総務	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和元年度（平成31年度）東京都板橋区介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	企画総務	○	○	○	○	○	○	
条例	東京都板橋区特別区税条例等の一部を改正する条例	企画総務	○	○	○	○	○	○	原案可決
	東京都板橋区立いこいの家条例の一部を改正する条例	健康福祉	○	○	×	○	○	○	
	東京都板橋区介護保険条例の一部を改正する条例	健康福祉	○	○	○	○	○	○	
	自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例	都市建設	○	○	○	○	○	○	
	東京都板橋区立公園条例の一部を改正する条例	都市建設	○	○	×	○	○	○	
	東京都板橋区立学校施設開放条例の一部を改正する条例	文教児童	○	○	×	○	○	×	
	東京都板橋区手話言語条例	健康福祉	○	○	○	○	○	○	
	東京都板橋区立リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例	区民環境	○	○	×	○	○	○	
	東京都板橋区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	企画総務	○	○	○	○	○	○	
	東京都板橋区立福祉園条例の一部を改正する条例	健康福祉	○	○	○	○	○	○	
	東京都板橋区保育所等の保育費用に関する条例の一部を改正する条例	文教児童	○	○	○	○	○	○	
	東京都板橋区幼稚園等の保育料の額を定める条例の一部を改正する条例	文教児童	○	○	○	○	○	○	
	その他	専決処分の承認を求めることについて	企画総務	○	○	○	○	○	
板橋区道の認定について		都市建設	○	○	×	○	○	×	可決
板橋区立上板橋第二中学校統合改築電気設備工事請負契約		企画総務	○	○	○	○	○	○	
板橋区立上板橋第二中学校統合改築給排水衛生ガス設備工事請負契約		企画総務	○	○	○	○	○	○	
板橋区立上板橋第二中学校統合改築冷暖房換気設備工事請負契約		企画総務	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案									
意見書	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	本会議にて即決	○	○	○	○	○	○	原案可決
	子どもの権利を保障する包括法の制定を求める意見書	本会議にて即決	○	○	○	○	○	○	

請願・陳情の審議結果と会派の態度

○=採択 ×=不採択 退=退席 ()は議員数 ただし、自民党の議員数は議長を除いた数

請願・陳情	付託委員会	自民党 (16)	公明党 (10)	共産党 (9)	民主クラブ (4)	市民 (3)	無所属の会 (2)	無所属議員 (1)	議決結果	採択後の処理
板橋区職員への機会提供及び休憩時間の取得に関する陳情 第1項 喫煙に関する知識習得の件	企画総務	○	○	○	○	○	○	○	採択	執行機関へ送付
板橋区職員への機会提供及び休憩時間の取得に関する陳情 第2項 勤務時間中の禁煙を求める件	企画総務	×	×	×	×	○	×	×	不採択	—
ホテル生息地の保全に関する陳情 第1項 行事での産地等表示の件	区民環境	×	×	×	×	×	×	×	不採択	—
東京都の「環境基本計画」における「再生可能エネルギーの導入」をさらに促進することを求める意見書提出に関する陳情	区民環境	×	×	○	×3退1	○	○	×	不採択	—
主要農作物種子法廃止に際し、市民の食糧主権と食の安全を守るため、新たな法整備と積極的な施策を求める意見書提出を求める陳情	区民環境	×	×	○	○	○	×	×	不採択	—
板橋区における受動喫煙防止対策に関する陳情 第2項 喫煙ルール周知の件	健康福祉	○	○	○	○	○	○	○	採択	執行機関へ送付
都心低空飛行問題についての陳情	都市建設	×	×	○	×3退1	○	○	○	不採択	—
都心低空飛行に伴う環境悪化懸念に関する陳情	都市建設	×	×	○	×3退1	○	○	○	不採択	—
区議会議員による区施設内での区職員に対する商品販売等の禁止を求める陳情	議会運営	×	×	×	×	×	×	×	不採択	—
区議会において区議会議員が喫煙や受動喫煙についての講演会を受けることを求める陳情	議会運営	×	×	×	×	×	×	×	不採択	—

今定例会において新規に受理され、継続審査となった請願・陳情の件名

- 【企画総務委員会】**
○国内法の適用などを旨とする日米地位協定の改定を求める意見書の提出を求める陳情
- 【区民環境委員会】**
○清水町集会所の廃止延期に関する陳情 ○ホテル生息地の保全に関する陳情 第2項 区民への産地等確認啓発の件 第3項 保護地域からの持込防止の件
○板橋区において税金の有効活用となる受動喫煙防止策を講じることを求める陳情（喫煙マナー指導員廃止の件） ○板橋区役所前駅公衆喫煙所設置を中止、撤去することを求める陳情
○板橋区役所前駅公衆喫煙所設置の説明会に関する陳情
- 【健康福祉委員会】**
○板橋区における受動喫煙防止対策に関する陳情 第1項 共生環境整備の件 第3項 非喫煙者に配慮した対策の件
○板橋区において税金の有効活用となる受動喫煙防止策を講じることを求める陳情（受動喫煙防止策の件） ○酷暑から命を守る緊急対策を求める陳情
○高齢者の補聴器購入費用の補助制度を求める陳情
- 【都市建設委員会】**
○「向原第二住宅地区 地区計画」策定に関する陳情 ○板橋南部地域にコミュニティバスの運行を求める陳情 ○高島平グランドデザインに関する陳情
○大山駅周辺地区のまちづくり等に関する陳情 ○「大山駅の駅前広場計画」に関する陳情 ○東武東上線の高架化に伴う板橋区の側道計画及び板橋区画街路第9号線に反対する陳情
○東武東上線大山駅の駅前広場計画の問題点の陳情 ○板橋区画街路第9号線に関する陳情 ○大山駅周辺地区のまちづくり等に関する陳情
○大山駅西地区のまちづくりに関する陳情 ○「向原第二住宅地区地区計画の策定」に関する陳情
- 【議会運営委員会】**
○陳情等の区議会ホームページ上での公開を求める陳情 ○陳情等の区議会HP上での公開を求める陳情 ○委員会のインターネット中継を求める陳情
○板橋区議会議員の政務活動費の収支報告書に加え、「会計帳簿」および「領収書その他の証拠書類」を板橋区議会のホームページで公開することを求める陳情

※審議未了となった陳情 ○議場において、国旗掲揚及び敬礼をしないことを求める陳情

常任委員会レポート

各常任委員会では、本会議において付託された議案と陳情について、専門的な立場から審査を行いました。議案書や委員会の運営次第・配付資料などについては、区議会ホームページにて公開しています。

第2回定例会(6月)

5日・6日	10日・11日・12日・19日・21日	21日
本会議 (一般質問)	常任委員会 (質疑応答、採決)	本会議 (採決)

令和元年度(平成31年度) 一般会計補正予算などを審査 企画総務委員会(6月10日、12日、21日)

今定例会では、「令和元年度(平成31年度)一般会計補正予算」や「特別区税条例等の一部を改正する条例」を含む議案8件と、「板橋区職員への機会提供及び休憩時間の取得に関する陳情」を含む陳情2件を審査し、「板橋駅前用地(B用地)一体的活用」や「本庁舎周辺公共施設再編方針(案)」を含む14件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。

〈主な審査内容〉
令和元年度(平成31年度)

一般会計補正予算は、幼児教育・保育の無償化や、低所得者の介護保険料の軽減、PC廃棄物の処理などに要する経費として16億4千万円を追加し、歳出歳入予算の総額を2千189億6千万円とするものです。

委員からは、幼児教育・保育の無償化に関して、区の財政負担や保育の質の確保、副食費の取扱い、障がい児の発達支援の無償化の範囲と施設の拡充、保護者への周知方法や相談対応などについて、活

区立リサイクルプラザ条例の一部を改正する 条例などを審査 区環境委員会(6月10日、12日)

今定例会では、「区立リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例」の議案と、「清水町集会所の廃止延期に関する陳情」や「板橋区役所前駅前喫煙所設置を中止、撤去することを求める陳情」を含む陳情7件を審査し、「プレミアム付商品券事業」や「区立美術館のリニューアルオープン」を含む10件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。

〈主な審査内容〉
区立リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例は、指定管理者が実施する事業に伴い発生する利用料金の範囲を改め、上限を定めるものです。担当課からは、条例の改正理由、条例改正により指定管理者収入となる事業と区の歳入となる事業の概要、それぞ



区立リサイクルプラザ

れの事業の利用料金の設定方法、条例の施行期日などについて説明がありました。

委員からは、区の支払う指定管理料と内訳、改正に至った主な理由と経緯、中古家具の販売額の推移や販売方法・価格の設定方法、条例改正に伴う指定管理者の処遇への影響、施設の設置意義、来館者数増への取組み状況、社会科学

発な質疑が行われました。表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本庁舎周辺公共施設再編方針(案)は、耐震性に課題のある旧保健所や、情報処理センターなど本庁舎周辺にある公共施設の再編方針案を報告するものです。

担当課からは、再編方針の方向性や、行政機能の適正配置の考え方と配置案、今後のスケジュールなどについて説明がありました。

委員からは、旧保健所の整備手法や移転させる行政機能のスペース、区民に対する説明会や意見聴取の機会の確保に関する区の考えなどについて、活発な質疑がありました。

今定例会では、「区立いの家条例の一部を改正する条例」や「介護保険条例の一部を改正する条例」を含む議案4件と、「高齢者の補聴器購入費用の補助制度を求める陳情」を含む陳情4件を審査し、「受動喫煙防止対策検討会報告」や「就学前の障がい児の発達支援の無償化に係る区の対応」を含む5件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。

〈主な審査内容〉

手話言語条例などを審査 健康福祉委員会(6月10日、21日)

手話言語条例は、地域社会において、手話や聴覚障がい者への理解・支援が十分に浸透していない現状を踏まえ、手話や聴覚障がいに対する理解啓発を進め、聴覚障がい者が地域で活動しやすい環境整備を促進し、その権利を保全することを目的とした条例です。

担当課からは、制定に係る経緯、制定理由、条例概要、施行期日、今後施策推進方針を策定すること、30年12月に

見学の実施可能性などについて活発な質疑がありました。

意見表明では、事業収入を指定管理者の収入とすることにより民間事業者のノウハウを生かし、来館者の増加へつなげるべきであるとして、原案に賛成との意見と、不用品

自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例などを審査 都市建設委員会(6月11日、12日、19日)

今定例会では、「自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例」や「区立公園条例の一部を改正する条例」を含む議案3件と、「大山駅周辺地区のまちづくり等に関する陳情」を含む陳情13件を審査し、「ブロック塀等調査結果」や「高島平地域のまちづくりの状況」を含む10件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。

〈主な審査内容〉
自転車等の駐車場の整備及

区立学校施設開放条例の一部を改正する条例などを審査 文教児童委員会(6月11日、12日、21日)

実施したパブリックコメントの概要と件数、医療関係者などへの周知啓発、現在手話を使用した教育は特別支援学級で行っていること、小・中学校の総合学習の時間に行っている福祉体験学習などを通じて小・中学生への理解を広げていくこと、手話講習会の実施状況、23区の条例の制定状況、区職員への普及について説明がありました。

委員からは、災害時や救急時・夜間の医療機関での対応の改善、子どもたちへの手話教育の充実、区職員の手話研修の実施、手話通訳者の待遇改善、パブリックコメントの内容を反映できているか、他区で制定されている条例の内容などについて、活発に質疑が行われました。

表決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

ことについて公園の利用者や周辺の保育園などへの周知の方法などについて活発な質疑がありました。

意見表明では、周辺駐車場の状況にも留意しながら、区民の利便性向上のために改修を進めるべきとして賛成という意見や、現在定期利用している区民の受け皿を確保できないよう対応する必要はあるが、老朽化から改修は必要であり賛成との意見がありました。

表決の結果、全会一致で原

案のとおり可決すべきものと決定しました。

今定例会では、「区立学校施設開放条例の一部を改正する条例」を含む議案2件を審査し、「令和元年度(平成31年度)保育所等入所状況及び認可保育所の公募結果」や「区立小・中学校の学級編成状況及び幼稚園児数」、「小中一貫教育の本格開始に伴う入学生予定校変更希望制の変更」を含む13件の報告を受け、それぞれの案件に対し、各委員が質疑を行いました。

〈主な審査内容〉
区立学校施設開放条例の一部を改正する条例は、体育館や柔剣道場などの学校施設開放を利用する際、使用できる付帯設備として冷暖房機器を追加し、その使用料を定めるものです。

担当課からは、条例の変更箇所、対象校、付帯設備の使用料、施行期日について説明がありました。

委員からは、学校施設開放の利用状況、冷暖房機器を使用した場合の平均料金、施設使用料は条件により減免があるが付帯設備使用料の減免は



成増公園



意見表明では、区民が使用できる付帯設備を追加し、その使用料を徴収することは、受益者負担の観点から当然であるとして、原案に賛成との意見と、現在体育館における冷暖房機器導入の効果検証を行っている段階のため、付帯設備使用料を徴収すべきではなく反対との意見がありました。

表決の結果、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議会の新構成

会派と正副幹事長

板橋区議会自由民主党議員団 幹事長 安井一郎 副幹事長 坂本あずまお 山田貴之	民主クラブ(立憲民主党・国民民主党) 幹事長 中妻じょうた 副幹事長 高沢一基
板橋区議会公明党 幹事長 かいべとも子 副幹事長 田中いさお しば佳代子	市民クラブ 幹事長 長瀬達也 副幹事長 五十嵐やす子
日本共産党板橋区議会議員団 幹事長 竹内愛 副幹事長 吉田豊明 山内えり	無所属の会 幹事長 井上温子 副幹事長 無所属議員 こんどう 秀人

議会運営委員会

委員長 安井一郎(自民党)	委員 山田貴之(自民党)
副委員長 かいべとも子(公明党)	中村とらあき(自民党)
理事委員 竹内愛(共産党)	山内えり(共産党)
竹内 愛(共産党)	坂本あずまお(自民党)
中妻じょうた(民主クラブ)	田中いさお(公明党)



大田ひろし
(公明党)



元山芳行
(自民党)

● 監査委員 ●

小林おとみ (共産党)

杉田ひろし (自民党)



※会派の届出の無い議員は「無所属議員」と表記しています

企画総務委員会

【主な審査内容】

- ◎ 政策の総合的な企画、調整、評価に関する事
- ◎ 財政に関する事
- ◎ 広聴・広報に関する事
- ◎ ITの推進、情報処理に関する事
- ◎ 情報の公開、個人情報の保護に関する事
- ◎ 公文書等の収集、保存、公開に関する事
- ◎ 男女平等参画の推進に関する事

【主な審査内容】

- ◎ 営繕に関する事
- ◎ 職員の進退、身分に関する事
- ◎ 財産、契約に関する事
- ◎ 区税に関する事
- ◎ 防災、危機管理に関する事
- ◎ 公有財産、物品の管理運営に関する事
- ◎ 選挙管理に関する事
- ◎ 監査事務に関する事
- ◎ 他の委員会に属さないこと

副委員長



坂本あずまお
(自民党)

副委員長



山田ひでき
(共産党)

副委員長



高山しんご
(自民党)

副委員長



なんば英一
(公明党)

副委員長



中村とらあき
(自民党)



中妻じょうた
(民主クラブ)



川口雅敏
(自民党)



長瀬達也
(市民)



竹内愛
(共産党)



いしだ圭一郎
(公明党)

区民環境委員会

【主な審査内容】

- ◎ 水道に関する事
- ◎ まちの美化に関する事
- ◎ 交通安全に関する事

【主な審査内容】

- ◎ 地域自治の振興に関する事
- ◎ 文化の振興に関する事
- ◎ スポーツの振興に関する事
- ◎ 国際交流に関する事
- ◎ 戸籍、住民基本台帳に関する事
- ◎ 産業の振興に関する事
- ◎ 消費生活、観光の振興に関する事
- ◎ 環境保全、公害対策に関する事

委員長



こんどう秀人
(無所属議員)

副委員長



山田貴之
(自民党)

副委員長



内田けんいちろう
(自民党)

副委員長



大野治彦
(自民党)

副委員長



荒川なお
(共産党)



成島ゆかり
(公明党)



井上温子
(無所属の会)



寺田ひろし
(公明党)



山内えり
(共産党)

健康福祉委員会

【主な審査内容】

- ◎ 生涯学習に関する事
- ◎ 図書館の運営に関する事

【主な審査内容】

- ◎ 高齢福祉に関する事
- ◎ 健康、保健衛生に関する事
- ◎ 保健所に関する事
- ◎ 介護保険に関する事
- ◎ 国民健康保険に関する事
- ◎ 国民年金に関する事
- ◎ 後期高齢者医療制度に関する事
- ◎ 障がい者福祉に関する事
- ◎ その他の社会福祉に関する事

副委員長



しいなひろみ
(無所属の会)

副委員長



吉田豊明
(共産党)

副委員長



しのだつよし
(自民党)

副委員長



かなざき文子
(共産党)

副委員長



しば佳代子
(公明党)



渡辺よしてる
(民主クラブ)



かいべとも子
(公明党)



杉田ひろし
(自民党)



田中やすのり
(自民党)

都市建設委員会

【主な審査内容】

- ◎ 都市計画に関する事
- ◎ 都市再開発に関する事

【主な審査内容】

- ◎ 建築物に関する事
- ◎ 住宅に関する事
- ◎ 道路、河川、公園緑地、下

副委員長



小野田みか
(自民党)

副委員長



鈴木こうすけ
(公明党)

副委員長



間中りんべい
(自民党)



五十嵐やす子
(市民)



いわい桐子
(共産党)



安井一郎
(自民党)



大田ひろし
(公明党)



佐々木としたか
(自民党)



おばた健太郎
(民主クラブ)

文教児童委員会

【主な審査内容】

- ◎ 児童福祉に関する事
- ◎ 学校教育に関する事

【主な審査内容】

- ◎ 生涯学習に関する事
- ◎ 図書館の運営に関する事

副委員長



石川すみえ
(共産党)

副委員長



茂野善之
(自民党)

副委員長



高沢一基
(民主クラブ)



南雲由子
(市民)



さかまき常行
(公明党)



田中しゅんすけ
(自民党)



田中いさお
(公明党)



元山芳行
(自民党)



小林おとみ
(共産党)

特別委員会

東武東上線連続立体化調査特別委員会

【調査内容】
東武東上線連続立体化について

委員長 佐々木としたか(自民党)

副委員長 吉田豊明(共産党)

理事委員 田中やすのり(自民党)
いしだ圭一郎(公明党)
高沢一基(民主クラブ)

委員 高山しんご(自民党)
中村とらあき(自民党)
しのだつよし(自民党)
しば佳代子(公明党)
五十嵐やす子(市民)
かなざき文子(共産党)

災害対策調査特別委員会

【調査内容】
災害対策について

委員長 いわい桐子(共産党)

副委員長 成島ゆかり(公明党)

理事委員 田中しゅんすけ(自民党)
荒川なお(共産党)
おばた健太郎(民主クラブ)

委員 山田ひでき(共産党)
安井一郎(自民党)
さかまき常行(公明党)
しいなひろみ(無所属の会)
大野治彦(自民党)
川口雅敏(自民党)
大田ひろし(公明党)

健康長寿社会調査特別委員会

【調査内容】
健康長寿社会について

委員長 田中いさお(公明党)

副委員長 坂本あずまお(自民党)

理事委員 山内えり(共産党)
かいべとも子(公明党)
渡辺よしてる(民主クラブ)

委員 小野田みか(自民党)
寺田ひろし(公明党)
小林おとみ(共産党)
元山芳行(自民党)
長瀬達也(市民)
杉田ひろし(自民党)

子ども家庭支援調査特別委員会

【調査内容】
子ども家庭支援について

委員長 中妻じょうた(民主クラブ)

副委員長 竹内愛(共産党)

理事委員 間中りんべい(自民党)
なんば英一(公明党)

委員 内田けんいちろう(自民党)
石川すみえ(共産党)
山田貴之(自民党)
井上温子(無所属の会)
南雲由子(市民)
鈴木こうすけ(公明党)
茂野善之(自民党)

一般質問

一般質問は、区政全般について議員が現状や方針を問うものです。全文は8月中旬以降に、区議会ホームページでご覧いただけます。



内田けんいちろう

(自民党)

町会・自治会への若い世代の関わり創出

【質問】若い世代に参加してもらえない具体的な提案と行動を示すべき。見解は。

【区長】町会・自治会が実施する行事の運営にPTAやおやじの会など若い世代が関わっている好事例があり、こうした取組みが広がっていくよう支援をしていく。また、いたばし総合ボランティアセンターと連携をしながら、若い世代と地域活動をつなぐ具体的な方策を検討していく。

若い世代の流入促進を問う

【質問】区に住み、働きたいと感じられるよう、労働生産性向上に向けた人的投資が必要。区の取組みは。

【区長】次世代経営者のネットワークの構築や、産業連合会が実施している取組みへの助成などを行っている。引き続き人材育成の支援の充実に努めていく。

高齢者の移動手段の充実

【質問】高齢者ドライバー

の事故が社会問題になっている。車がなくても不便でない環境を整えることが解決策の1つである。公共の移動手段の充実を図り、高齢者にとって住みやすいまちづくりを進めるべき。見解は。

【区長】高齢者の移動に関する実態把握に努め、高齢者や交通、まちづくりそれぞれ観点から全庁的な議論を深め、高齢者が住みよいまちづくりを進めていく。

都営三田線の延伸を問う

【質問】高齢者の移動手段確保や若い世代呼び込むためには、三田線の延伸が必要。不可欠と考える。見解は。

【区長】国の計画に三田線の延伸が位置付けられていない。そのため、車両数を6両から8両に増やす輸送力強化を都に働きかけてきた。8両編成後の状況を注視していく。

プレミアム付商品券の転売防止策

【質問】消費税率の引上げによる影響を緩和し、消費喚



高山しんご

(自民党)

園児・保育士の安全対策を

【質問】令和元年5月に滋賀県大津市で園児らが犠牲となった交通事故を受け、今後園児・保育士の安全をどのように確保していくのか。

【区長】安全な園外活動のため、関係部局が連携し、危険箇所などについての情報を共有し、相互の協力体制のもと、安全対策の一層の強化に取り組む。

地域別防災対策マニュアルの見直し

【質問】区では、地域住民の自助・共助による地域防災力の向上を目的として地域別防災対策マニュアルの作成を支援したが、完成から3年以上が経過している。見直しを含め、自助・共助を区はどのように支援していくのか。

【区長】地域の特性や課題が変化しており、見直しが必要と認識。区民防大や防災セミナーなど、防災活動を支える人材を育成する方策を広く展開していく。

区のブランド力向上を

【質問】民間の調査で区はSDGs先進度が都内第1位の評価を受けた。SDGsへの取組みを積極的に発信し、区のブランド力向上につなげる取組みは。

【区長】商品券裏面への注意事項の記載や、区内金券ショップに商品券買取の禁止を求めていく。

るべき。見解は。

【区長】様々な形で周知に努めるとともに、区の取組みを発信し、自治体としてのブランド力を高めていく。

小中学校の英語教育を問う

【質問】小中学校における英語教育の本格化にあたり、子どもの可能性、将来性を伸ばすため、教員の英語力の向上に取り組むべき。教員の育成計画は。

女性のライフステージに合わせた働きやすい職場への支援

【質問】女性が様々なライフステージにおいて、男性と同じように機会を与えられて気持ちよく仕事ができる環境を整えるべきと考えるが、区の取組みは。

【区長】誰もが働きやすい環境となるよう、区内企業に向けて、セミナーやイベントの案内および啓発パンフレットの配布を行い、積極的な周知を図っている。

元気な高齢者の活躍を促進する取組みを

【質問】就労意欲のある元気な高齢者が、今までの経験を活かしながら仕事ができる環境整備が必要。区の就労支援の状況は。

【区長】社会福祉協議会が

【教育長】令和元年度では、英語で英語を教える技術習得プログラムについて、小中学校の教員を対象に体験セミナーを実施し、教員の指導力の向上を図っていく。

児童生徒の孤立を防ぐ対策を

【質問】小中学校において児童・生徒の孤立を防ぐには、学校組織から独立した第三者的立場の人員を学校に配置することが有効。区の見解は。

【教育長】第三者的立場であるスクールカウンセラーを小中学校に配置し、孤立やいじめ、不登校の未然防止に向け、助言・援助を行っている。

小野田みか

(自民党)

運営するアクティブシニア就業支援センターにおいて、合同面接会や再就業支援講座の開催、求人情報の提供などを行っている。

【質問】他自治体では、クラウドファンディングにより資金を集め、経済的な事情で塾に通えない子どもを支援するため、学習塾代として使えるクーポンを提供したり、ICT機器の活用による英語教育の充実を図っている。親の経済格差を教育格差に繋がないための取組みは。

【区長】区では、まなぶいすや学びプレイスのほか、生活保護受給世帯に対する塾代の補助により学ぶ意欲を持つ子どもたちを支援している。他自治体の事業も参考にし、



しのだつよし

(自民党)

障がい者雇用の充実を問う

【質問】法務省などが行っている就労支援策に協力雇用主制度があるが、障がい者の就労支援にも同様の仕組みを構築すべきと考える。区の取組みの現状と今後の方向性は。

【区長】板橋区自立支援協議会のもとに事業者連絡会を設け、様々な雇用策の可能性を協議しており、受入企業の充実による障がい者の就労促進に取り組んでいく。

寛容な社会の実現に向けて

【質問】他人の過ちや欠点を許し、意見や立場が異なる人を認める寛容な心を育むことが重要。学校での取組みは。

【教育長】道徳科の学習を通して、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する信

【質問】UR都市機構と連携しながらアートや空き家を利用して新たな観光資源を創出することで、地域の活性化だけでなく、区のプロモーションにつながるかと考える。区の見解は。

【区長】文化、芸術の観点を含めた取組みは、にぎわいづくりや地域のブランディングの視点から有効と考える。今後も、様々な意見を踏まえながら、多くの人々が賛同するまちづくりを進めていく。

条や態度を育てている。また、様々な異年齢交流に取り組み、年長者が年少者を助け、リーダーシップを発揮する体験的な活動などを行っている。

【質問】今後、世界で活躍する子どもたちに対し、我が国の伝統や文化についての理解を深める教育が必要。学校における具体的な取組みは。

【教育長】地理や歴史、和歌や古典文学などの学習に加え、茶道や華道体験、琴や和太鼓演奏など、学校の特徴に応じて体験的に学習している。

大山駅周辺地区のまちづくりを問う

【質問】①30年12月に駅前広場計画の都市計画案が示された。課題である交通結節機能の低さやオーブンスペース

【区長】①補助第26号線の整備や鉄道立体化を見据え、鉄道と各交通機関との乗換え、利便性の向上や公共空間の確保を図るため、駅前広場の計画を現在進めており、令和元年度に都市計画決定を行う予定。②令和元年度にスタートしたNo.1プラン2021に基づき公共施設の配置検討を進め、令和3年度には一定の結論を示す計画となっている。



寺田ひろし

(公明党)

【質問】①現在、成人歯科検診は40歳から70歳まで実施しているが、後期高齢者の検診は行っていない。誤嚥性肺炎や動脈硬化の悪化を予防するためにも、早急に後期高齢者の歯科検診の実施を求めるが、見解は。②多くの区民が健康維持に取り組み意欲を継続できるような健康ポイントシステムを導入すべきと考え

【区長】①後期高齢者の検診については、明確に計画などに位置付けられていないが、口腔ケアの重要性に鑑み実施に向け検討していく。②同制度については、いたばし健康プラン後期行動計画2022において導入の検討を行うとしている。早期の制度導入をめざし、他自治体の実施状況などを参考に検討していく。

【7面に続く】



板橋第一中学校

【6面から続く】
マイタイムラインの普及啓発を求めて

【質 問】都が発表した「東京マイ・タイムライン」の意義および作成方法を区民へ周知すべき。見解は。

【区 長】区としては、気象警報や避難情報などの災害情報や避難促進も重要であると考えており、それらを進めたいと、都と連携をして普及啓発を図っていく。

小茂根一丁目集会所の備品について問う

【質 問】現在の座椅子では高齢者の利用に不都合のため、通常の高さの椅子および会議テーブルに入れ替えるよう求めるが、見解は。

【区 長】現在より座面が高く、背もたれがついた高座椅子の配置について財政面も勘案しながら検討する。

※以上のほか、高齢者の問題、ひきこもりの高齢化問題について質問があった



さかまき常行

(公明 党)

ICTの推進・活用を求めて

【質 問】①職員の業務負担軽減などの効果が期待される、AIを活用したチャットボット形式の総合案内サービスを導入しては。②情報格差解消のために、区主催の講習会などの機会を捉えICT利用のための啓発を行うべきでは。

③ペーパーレス化について、現状の取組み状況や今後の計画・方針はどうなっているか。
【区 長】①同形式の総合案内



いしだ圭一郎

(公明 党)

青少年キャンプについて問う

【質 問】①児童館職員のキャンプ同行について一方的に廃止を決定したが、このことについてどのように考えるか。②各地区の状況を把握し、希望があればキャンプに同行させるなど柔軟な対応を。



青少年キャンプにおけるキャンプファイヤー

【区 長】①児童館数の見直しや児童館機能の転換などにより、宿泊を伴うキャンプへの



石川すみえ

(共 産 党)

幼児教育・保育無償化に伴う副食費の負担について問う

【質 問】国は、保育所が保護者から副食費を徴収することとしているが、従前どおり区が負担すべき。見解は。

【区 長】保育料とは別に徴収を行うと、低所得世帯の負担が増すケースがある。そのため、幼児教育・保育無償化の目的を鑑み、引き続き区が費用負担を行う予定。

待機児童対策を問う

【質 問】3歳児の待機児童数が増加する一方、小規模保育所の欠員も増加している状況

と、設置費用助成の拡大を。

【区 長】同制度については、広報紙やホームページなどで周知してきたが、今後は熱帯環境植物館などにおける常設展示なども検討していく。また、助成拡大については、区民ニーズや他自治体の動向も踏まえ慎重に検討していく。

※以上のほか、精神障がい者支援、高齢者政策、公園などについて質問があった

さらなる推進のために、庁内の無線LAN環境の整備を検討している。

【質 問】①現在、こども動物園大規模改修に伴う整備工事中であるが、北西側の道路は歩行者の安全対策がなされていない。改善を。②北西側出入口にはスロープのない箇所があり、ユニバーサルデザインの観点からも改善が必要と考えるが、見解は。

【区 長】①道路に沿った公園敷地内に園路を設置する予定である。これにより見通しがよくなり飛び出しの危険が改善されると考えている。②園路の整備工事にあわせて階段脇にスロープを設置する予定である。



小林おとみ

(共 産 党)

多子世帯に対する国民健康保険料軽減策について問う

【質 問】均等割保険料は、家族が多いほど負担が増える。子育て支援策として、多子世帯に区独自で軽減策を設けることに法的な問題はありますか。

【区 長】国民健康保険法では、特別な理由がある者に対して条例または規約で保険料を減免できると規定されている。多子世帯であるからといって一律に保険料を下げることは、特別な理由にはあたらなと国は説明している。

大学生の生活実態を問う

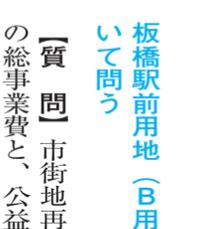
【質 問】仕送りが減ったことに伴い、学費や生活費をアルバイトで稼がなければなら

おおよそ徳丸ヶ原公園の指定管理者公募の際にはプレーパーク事業の提案を盛り込む予定。自衛隊への個人情報提供について問う

【質 問】個人情報保護の観点から、自衛隊の住民票閲覧を中止すべき。区長の見解は。

【区 長】住民基本台帳法では国または地方公共団体の機関が公用で行う場合は閲覧できることと規定されており、閲覧の中止はできない。

※以上のほか、東山公園内集会所、生涯学習センター(まなぼーと)の充実を求めて、向原第二住宅地区の地区計画の提案、コミュニティバス、加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成について質問があった



渡辺よしてる

(民主クラブ)

板橋駅前用地(B用地)について問う

【質 問】市街地再開発事業の総事業費と、公益施設の賃借料はいくらか。

【区 長】総事業費は240億円を見込んでいます。公益エリアを展開していくフロアの賃借料は、JR東日本と交渉中である。

夜間中学の設置を求めて

【質 問】学び直しを希望する区民に、学ぶ機会を作る必要がある。夜間中学に関する区の検討状況を問う。

【教育長】区への問い合わせは年数件にとどまる。希望者には学校の連絡先の案内を行うほか、区の教育広報でも周知している。今後も潜在的なニーズや実態の把握に努める。

※以上のほか、夏の暑さ対策、マンション紛争、板橋区役所前駅の公衆喫煙所設置、小豆沢体育館温水プールの更衣室の改善について質問があった

や危険箇所を確認し安全を管理している。事故を受け、危険箇所と人員体制の確認を改めて行うよう保育施設へ指示した。関係部局で連携し、安全対策をさらに強化する。

【質 問】葛飾区では、妊婦への支援として、5千500円をチャージした交通系ICカードを交付している。区でも外出支援を行うべきでは。

【区 長】妊婦との面接を通

【8面に続く】



下赤塚公園で開催されたプレーパーク

(7面から続く)
してニーズを把握し、他自治体の事例を参考に研究する。



おばた健太郎

(民主クラブ)

【質問】多様な子どもたちへの対応と、学力の底上げを行うためには、今以上に教育環境の充実が必要。教職員のさらなる増員が必要では。



区立小学校における授業の様子

【質問】実際の災害を想定した実践的な訓練をバリエーションの一つとして加えるべきと考えるが区長の見解は。
【区長】訓練時間の制約もあり課題が多いため、各住民防災組織の訓練で実際の避難の流れを確認する機会を設けることなどを提案する。
※以上のほか、消防団の運営費、石神井川の周辺環境、公衆喫煙所、板橋区のグラウンドデザインについて質問があった

※以上のほか、多胎児家庭支援、第2子出産時における家庭支援について質問があった



南雲由子

(市民)

医療的ケア児の支援を求めて

【質問】①「障がい児保育園がないから区外へ引っ越す」という声も聞く。第一歩として、ビジョンを共有する議論の場を持つことが重要。設置を予定する会議体の今後のスケジュールは。②医療的ケア児の実数を把握すべき。小児慢性特定疾病の医療費助成制度の認定者数から把握で

きないか。③区長の医療的ケア児支援に対する意気込みは。
【区長】①現在、会議体の中心となる医療関係者などの人選を進めている。早期設置に向けて準備を進めていく。②認定者は27名であるが、都が認定しており、認定者に占める未就学児の数は把握していない。③個々のニーズが多様で、個別具体的な検討が必要。早期に会議体を設置し、

夜間対応型訪問介護事業所の新規整備について問う



しいなひろみ

(無所属の会)

【質問】23区で夜間対応型事業所がないのは、板橋区を含め4区のみ。在宅介護の充実に向け、事業所の新規整備を行うべき。区の見解は。
【区長】令和元年秋に介護保険ニーズ調査を行い、区民や介護事業者の現状や要望を把握する予定。結果などを踏まえ、進め方を検討していく。

介護職員の質の向上を求めて

【質問】介護施設では無資格・未経験者も勤務できる。ケガ・誤嚥などの事故を防ぐため、区主催で入職時などの職員研修の定期的な実施を。
【区長】各法人の理念を尊重するため、入職時の職員研修実施は課題が多い。法人へ、研修に関する情報提供を行う。



介護保険料納入通知に同封されるチラシ

介護保険料減免制度の周知方法について問う

【質問】制度の存在を知らず、保険料を滞納している区民がいる。制度の周知方法は。

保険料の納入通知に案内を同封しているほか、減額制度の利用者には更新時期に申請書を送付している。また納付相談があった際には適宜案内を行っている。

【区長】①小規模保育所などからの卒園による待機者が増加し、希望に対応できなかった。定員の確保と、私立幼稚園の長時間預かり保育の活用に向けたさらなる取組みを進める。②高島平地区の保育需要や、他の保育園の建替え需要を考慮し検討したが、保育園としての活用は困難と判断し解体することとした。
※以上のほか、住民参加のまちづくり、SDGsと生物多様性地域戦略について質問があった



医療的ケア児を支援する保育園

待機児ゼロと保育園の仮園舎の有効活用について問う

【質問】①待機児童数が減少傾向にある中、3歳児の待機児童数が増加している。実

議会トピックス

5月23日の臨時会において、特に重要な案件を専門的に調査する機関として4つの特別委員会が設置されましたので、建議理由(要旨)をお知らせします。

東武東上線連続立体化調査特別委員会

通勤・通学など区民の足として重要な役割を果たしている東武東上線は、沿線の多くの踏切が、「開かずの踏切」であり、交通渋滞の発生や踏切事故の危険性、市街地の分断など、まちの魅力低下の一因となっている。踏切事故を防止し、地域分断の解消を進めるうえでも、立体化に向けて動き出している大山駅付近以外の、区内全線立体化に向けた検討を行い、将来に向けた確実な歩みを進めることが必要である。安全性向上・地域分断の解消に向け、立体化実現までの間における踏切の安全対策を推進し、区民・利用者の安心・安全をめざした調査を行う必要がある。



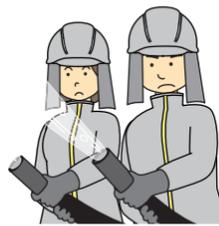
健康長寿社会調査特別委員会

区は基本計画で、豊富な知識や経験を生かしながら高齢者が活躍できるまちづくりによって、地域課題の解決や高齢者自身の健康増進を促し、豊かさを実感できる社会を掲げている。このような社会の実現のためには、健康寿命を延伸し、元氣高齢者を増加させながらも、高齢者が生きがいを感じ、様々な担い手となるよう、就労機会の創出・拡大および社会参加・活動に対する支援をより一層充実させていく必要がある。高齢者の生きがいや健康づくり、生活の利便性にも配慮された高齢者にも住みよいまちづくりを進めるための調査を行う必要がある。



災害対策調査特別委員会

近年、全国で様々な自然災害が相次いで発生している中、区は板橋区地域防災計画に基づき、関係機関や区民との認識を共有し、各主体による予防、応急、復旧、復興といった局面ごとの防災対策を進めている。しかし、首都直下地震や豪雨などの災害がいつ起きてもおかしくない現状において、各種防災対策が十分とは言えず、全国各地で発生している災害を教訓として、ソフト・ハードの両面から災害に対する不断の備えを進める必要がある。区民の安全を確保することができ、「自然災害に強い板橋区」を実現するため、実効的な防災対策について調査を行う必要がある。



子ども家庭支援調査特別委員会

子育てを取り巻く環境は、核家族化、ひとり親家庭の増加などにより変化している。また、子育ての孤立化が進み、負担感や不安感を持つ保護者が増えている。区では、児童相談所を包含する(仮称)子ども家庭総合支援センターを設置予定である。これを契機に子どもと家庭に関わる様々な関係機関との連携体制を再構築するなど、支援をより幅広く効果的なものとしていく必要がある。安心して子どもを産み育てられる環境の整備や、すべての子どもの成長を切れ目なく支援するための体制の構築に向けた調査を行う必要がある。



第3回定例会の予定

9月13日	議会運営委員会
9月25日・26日	本会議
9月27日	企画総務委員会 区民環境委員会 健康福祉委員会
9月30日	都市建設委員会 文教児童委員会
10月3日	議会運営委員会
10月4日	東武東上線連続立体化調査特別委員会 健康長寿社会調査特別委員会
10月7日	災害対策調査特別委員会 子ども家庭支援調査特別委員会
10月10日	議会運営委員会
10月11日	本会議 決算調査特別委員会
10月15日・16日 10月23日~25日	決算調査特別委員会
10月28日	議会運営委員会
10月29日	本会議

●会議は原則として午前10時に開会予定です(議会運営委員会は午後1時から)。開始時間が変更となる可能性がございますので、傍聴をご希望の方は事前に区議会事務局までお問い合わせください。
●審査を希望される請願・陳情につきましては9月12日(木)午後3時までにご提出ください。